

建築、土木、電気、機械職 を希望している皆さんへ



Contents

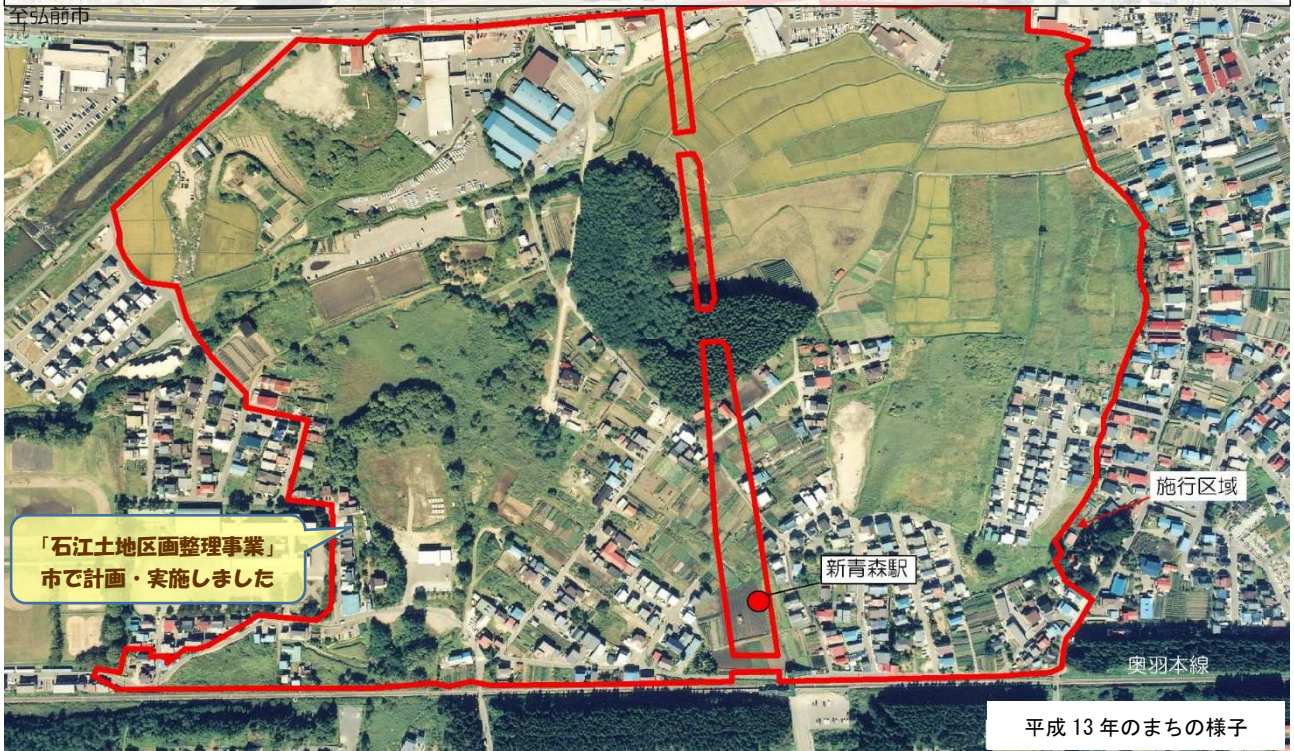
- 1 仕事紹介
- 3 先輩職員の本音
- 11 リケ女座談会
- 14 リケ×リケ夫婦インタビュー

建築、土木、電気、機械職の仕事は大まかに分類すると「計画」、「整備」、「維持管理」です。

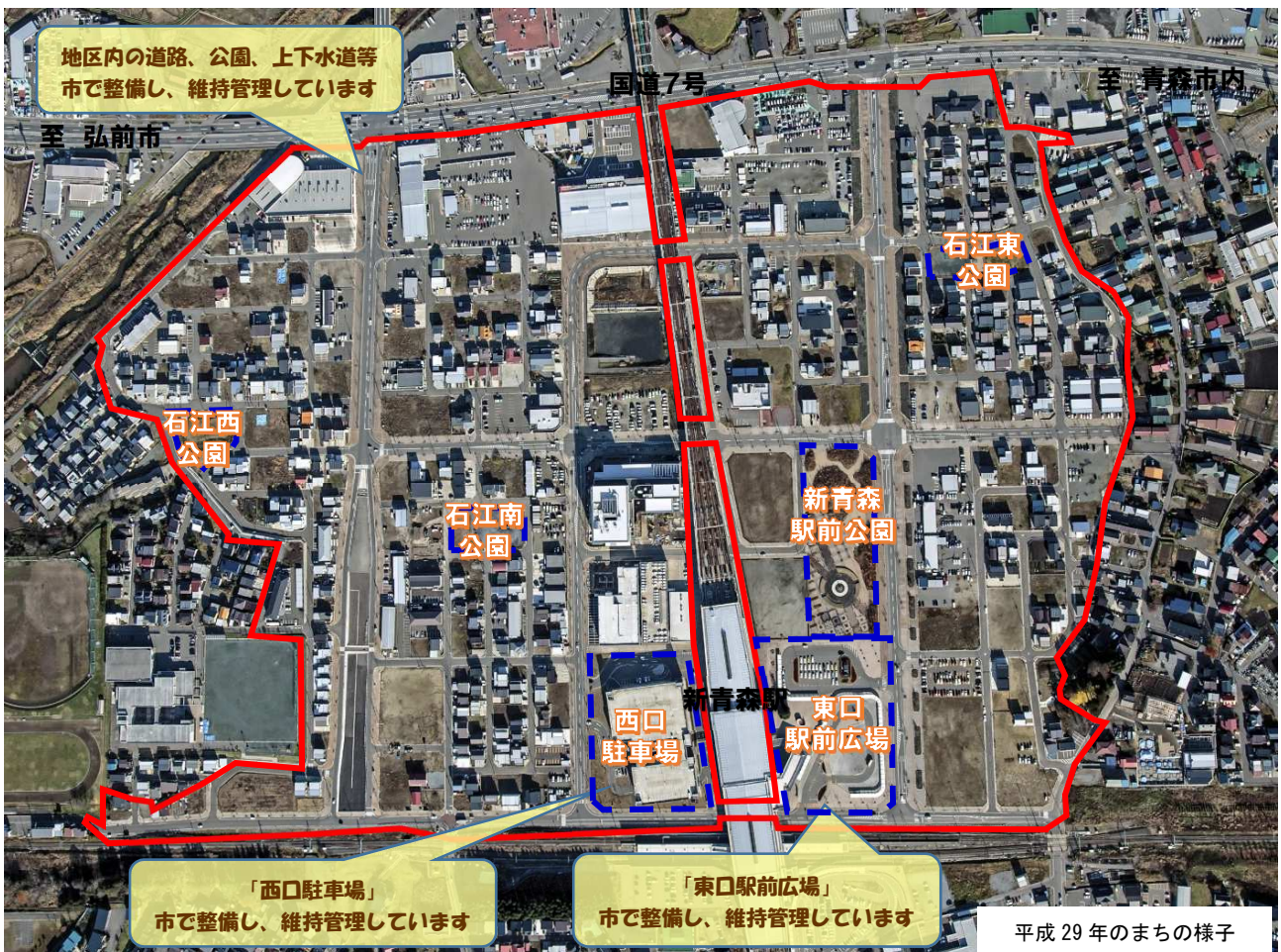
	計画	整備	維持管理
建築職の主な仕事	<ul style="list-style-type: none"> ・地区計画や用途地域等の土地利用に関する都市計画を定めています。【都市政策課】 ・昭和 56 年 5 月以前に建築した建築物の耐震化を促進させる計画を定めています。【建築指導課】 	<ul style="list-style-type: none"> ・市の建物の意匠や構造の設計をし、その工事が適正に施工されるよう、監理をしています。【建築営繕課】 ・建築される建物(民間含む)が建築関係の法律に適合して建築されているか確認するため、工事の検査等をしています。【建築指導課】 	<ul style="list-style-type: none"> ・市の建物の維持管理をしています。【各建物の所管課】 ・多数の利用者が見込まれる市の建物について、適正に維持管理されるよう定期に点検しています。【建築営繕課】 ・多数の利用者が見込まれる民間の建物の所有者に、適正に維持管理されているかについて定期に調査・報告させています。【建築指導課】
土木職の主な仕事	<ul style="list-style-type: none"> ・道路や公園等の公共施設に関する都市計画を定めています。【都市政策課】 ・新たに整備する上下水道施設の計画や老朽化した施設の更新計画を定めています。【下水道整備課、水道部整備課】 ・老朽化した公園施設、橋梁等の更新計画を定めています。【公園河川課、道路維持課】 	<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業や公共施設の整備に必要な用地の取得・補償に係る地権者との調整を行っています。【用地課、石川区画整理事務所】 ・駅前広場、自由通路等の交通結節点や道路、橋梁、公園、河川、上下水道等の工事の設計をし、その工事が適正に施工されるよう監理しています。【都市政策課、道路建設課、道路維持課、公園河川課、下水道整備課、水道部整備課】 	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道施設の維持管理をしています。【八重田浄化センター】 ・上水道施設の維持管理をしています。【水道部施設課】 ・道路、橋梁、公園、河川等の維持管理や道路の除排雪をしています。【道路維持課、公園河川課】
電気職の主な仕事	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに整備する上下水道施設の計画や老朽化した施設の更新計画を定めています。【下水道整備課、水道部整備課】 	<ul style="list-style-type: none"> ・市の建物の電気設備工事の設計をし、その工事が適正に施工されるよう、監理をしています。【建築営繕課】 ・上下水道の電気設備工事の設計をし、その工事が適正に施工されるよう監理しています。【下水道整備課、水道部整備課】 	<ul style="list-style-type: none"> ・市の建物の電気設備の維持管理をしています。【各建物の所管課】 ・下水道施設の電気設備の維持管理をしています。【八重田浄化センター、蜷貝ポンプ場】 ・上水道施設の電気設備の維持管理をしています。【水道部施設課、横内浄水課、堤川浄水課】
機械職の主な仕事	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに整備する上下水道施設の計画や老朽化した施設の更新計画を定めています。【下水道整備課、水道部整備課】 	<ul style="list-style-type: none"> ・市の建物の機械設備工事の設計をし、その工事が適正に施工されるよう、監理をしています。【建築営繕課】 ・上下水道の機械設備工事の設計をし、その工事が適正に施工されるよう監理しています。【下水道整備課、水道部整備課】 	<ul style="list-style-type: none"> ・市の建物の機械設備の維持管理をしています。【各建物の所管課】 ・下水道施設の機械設備の維持管理をしています。【八重田浄化センター、蜷貝ポンプ場】 ・上水道施設の機械設備の維持管理をしています。【水道部施設課、横内浄水課、堤川浄水課】

石江（新青森駅周辺）地区のまちづくりを例に建設系技術職の仕事を見てみると

本地区は「土地区画整理事業」という手法でまちづくりを行っています。
 土地区画整理事業とは、道路、公園等の公共施設を整備・改善し、土地の区画を整え宅地の利用の増進を図る事業です。



このまちが十数年後…



先輩職員の本音



建築営繕課 秋田 悦穂
平成 29 年度採用 建築

市役所を選んだきっかけ

民間企業で設計や設計補助業務に関わってきました。会社での仕事内容に不満はありませんでしたが、将来を考えたときに、いつまで続けられるだろうか…と漠然とした不安を抱えていました。そうした中で、民間経験がある建築職員を募集していることを知り、経験も活かせると思いました。建築を通して自分が育ったまちが発展していくことはうれしいですし、微力ながら住みやすい街づくりに携わりたいと思い青森市で働くことを決めました。

現在の業務内容

青森市で所有している建物で、各施設を管理している主管課からの依頼により、新築、改修、解体等の工事の設計業務・工事監理業務を行っています。工事の設計や業者との打合せ、設計通りに工事が適切に施工されているかをチェ

ックするのが主な仕事です。

働いてみて感じたこと・やいがい

役所ならではの業務として覚えることはたくさんあります。中でも驚いたことは、手順の多さです。民間企業に比べて手順に要する手間と時間が多いです。中でも公文書の取扱いが難しく、調べながら聞きながら確認しながら学んでいます。職場での人間関係は、お堅いイメージがありましたが、上司や先輩など優しく指導してくれて、思った以上に働きやすい環境だと感じています。「モノづくり」では当たり前かもしれませんが、設計した建物が完成したときには、何とも言えない達成感が得られることにやりがいを感じます。作り上げた建物が、街の一部で何十年とその土地に残り続け、市民が快適な暮らしができることに喜びを感じます。

市職員を目指す方へのメッセージ

技術も大切ですが、入庁してからでも身につけることができます。近年、建築を志す人が年々減ってきているように感じます。私たちと一緒に青森市を住みよい街にしていきませんか。





建築指導課 川村 秋奈
平成 30 年度採用 建築

市役所を選んだきっかけ

高校、大学と建築を学んできて、将来は建築関係の職に就くだろうとは思っていたものの、就職活動が本格的に始まってくる大学3年生になってもやりたいことが明確に決まっていませんでした。大学3年の夏から都市計画の研究室に入り、様々なことを学んでいくうちにまちづくりに興味を持ちました。そこで、生まれ育った青森市のまちづくりに関わりたいという気持ちが芽生え、青森市役所を受験することを決めました。

現在の業務内容

青森市内にあり、対象となる「特定建築物」「特定建築設備等」「昇降機等」の定期報告を受け、建物が適法に保たれているか、建物の維持管理がきちんとできているかをチェックしています。

また、道路種別を聞きに窓口に来た方に、建

築基準法上の道路かどうかを回答し、種別が不明な道については、現地調査を行い道路種別の判断をしています。

仕事で心がけていること

分からない事があつたらすぐに聞く、1つ仕事が終わったら上司に確認してもらうということを心がけています。

1度聞いたことでも忘れてしまうことがあり、何度も同じことを聞くのは申し訳ない気持ちでいっぱいですが、間違えたまま進めるよりはいいと思うのですぐに聞くようにしています。誰に聞いても優しく丁寧に教えてくれて、雰囲気の良い職場だなと感じています。

仕事を始めて数か月经ち、少しずつ仕事に慣れてきてミスなくできたかなと思っても、確認してもらおうと、修正しなければならない部分が出てくるのがほとんどです。自分だけで判断せず、確認してもらってから次の仕事に取り掛かるようにしています。

市職員を目指す方へのメッセージ

私は大学3年生の秋頃から勉強を始めたので、他の公務員を目指す人よりかなり遅れたスタートになりました。試験まで時間がなく、なにかから始めようかと考えた時、青森市のことを調べることから始めました。自分が長年住んでいても気づいてなかった魅力がたくさん見つかると共に課題点も見えてきます。市職員になったら自分がその地域に貢献するために何ができるのか、何をしたいかをしっかりとさせて受験に臨むといいと思います。





下水道整備課 高瀬 貴帆
平成27年度採用 土木

市役所を選んだきっかけ

地元青森での就職を希望しており、大学3年生のときに青森市役所のインターンシップに参加したことがきっかけで、市民の生活を支えるインフラを整備する技術職の仕事に魅力を感じたからです。

現在の業務内容

私が所属する管渠整備チームは、未普及地域に下水道を整備する工事の設計・積算・施工監理をしています。

現在は、未普及地域に下水道を新規に整備する工事に加え、市内中心部の下水道管の老朽化に伴い、管の破損による道路の陥没等を防ぐため、既設の下水道管の内側に新しい管を構築する管更生工事を担当しています。

工事の設計・積算して発注し、工事の施工業者が決定すると、監督員として施工業者と打ち合わせしながら監理を行い、工事を完成させま

す。完成後、工事検査員による工事の検査に合格すると、沿線の方々が公共下水道を使えるようになります。

働いてみて感じたこと・やりがい

大学等で勉強してきた専門知識を現場に活かすには知識も経験もまだまだ足りないので、日々勉強です。

1件の工事の設計をするのにも、施工場所も、交通の状況も、土質や地下水位などの条件も現場によってそれぞれ違うため、何度設計をしても全く同じ工事はありません。現場ごとに最適な工法を選択し、施工する業者の方が安全に施工でき、近隣の住民の方々へのご迷惑を最小限に抑えるよう考慮して設計をしなければなりません。自分で調べてもわからないことは先輩や業者の方に質問し、教えてもらいながら設計を行います。そうして苦労して設計した工事が無事に完成すると、達成感を感じます。

また、工事が完成して下水道が整備されると、汚水が処理場で処理されてから海や川に放流されるため、地域全体が衛生的になり、さらには環境美化にもつながります。

微力ではありますが、市民の方々の安全で快適な生活を支える土台をつくることのできる仕事にやりがいを感じています。





道路建設課 齊藤 基輝
平成29年度採用 土木

市役所を選んだきっかけ

私が市役所を選んだきっかけは、高校のときに参加したガイダンスです。就職先が決まらず悩んでいたときに市役所のガイダンスに参加しました。市役所への就職は考えていませんでしたが、このガイダンスで私は技術職という職種があることを知り、技術職であれば高校で学んだ土木の知識を活かし、地元のため仕事が出来ると思ったのがきっかけでした。

現在の業務内容

現在の業務内容としては、公共工事の設計、発注等を行っています。主に道路改良の工事を担当しています。パソコンでシステムを使って設計書を作成し、実際に工事が行われている現場へ行き、業者と現場立会いをします。

仕事で心がけていること

私が仕事で心がけていることは、常に勉強しながら業務をこなしていくことです。仕事をするとともに、わからないことがどんどん増えていきます。

私が今携わっている土木の仕事ですが、高校である程度知識を得たと思っていたので働き始めてもそう苦しまないだろうと思っていましたが、いざ働き始めると高校で習ったこと以上に深く掘り下げたところから工事の設計を考えなくてはならず、さらに、それに関連した法律等についても調べなければ現場監理することができないので、土木はもちろん、法律、規則についても正しい知識を身につけなければならないことを痛感しました。このように、高校で得た知識だけでは行き詰ってしまうことが多々あるので、上司や先輩に聞いたり、参考書等を見たり、わからないところを自分なりに学習して理解を深めていこうと思い、勉強しながら業務をこなすことを心がけています。

働いてみて感じたこと・やりがいい

私が市役所で働いてみて、とても責任のある仕事をしているのだなと感じました。私の担当している工事現場が将来たくさんの車や歩行者が利用することを考えると、とても責任を感じますし、同時に、やりがいも感じます。私は働き始めた頃、難しい仕事に戸惑っていましたが、1年を過ぎた今は地元のため、市民のために自分の仕事に責任をもつ大切さを少しずつ感じ始めました。私はこの気持ちがとても大切だと思います。

八重田浄化センター 福田 若奈
平成27年度採用 電気



経歴

平成27年～ 下水道整備課
平成30年～ 八重田浄化センター

市役所を選んだきっかけ

元々出身は青森市なのですが、大学進学で青森市を離れ、別地域で生活をしました。そのときに「やっぱり青森市が好きだなあ」と感じ、青森市のために貢献できる仕事を選びたいと考え市役所を選びました。

これまで経験した業務

下水道整備課では、主に下水道施設の電気設備工事の設計・積算、工事監理を担当していました。電灯やコンセントなどの住宅にある設備から、日常ではなかなか触れることがない高圧の電気設備まで、様々な設備の工事を発注し、現場監督を行っていました。八重田浄化センターでは、主に下水道施設の維持管理を行っています。処理場やポンプ場内の設備を点検したり、設備に不具合があれば修理をしたりしています。また、安定した下水の処理ができるよう、設備の状況を常に監視し、運転状況を確認しな

から機器の調整をかけています。

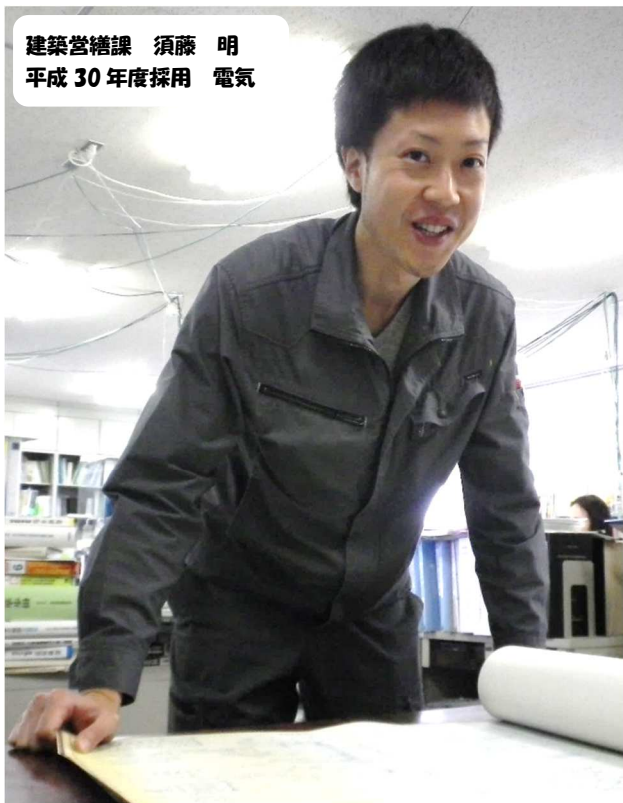
働いてみて感じたこと・やりがい

どの職場でもコミュニケーションが大事だなと思います。同じ職場の職員はもちろん、他課の職員や工事業者など、連携して仕事を取り組んでいかなければならない方が多数いるからです。また、仕事で大きな問題が発生したときには、上司や先輩からアドバイスをもらうことがあります。そのときには、現時点での状況や自分の考えを的確に伝えることによって、よりよいアドバイスがもらえるため、話す力・伝える力が必要だと感じています。

やりがいを感じる時は、設備の不具合が発生したとき、現場へ出向いて何が原因なのかを考え、他の職員と協力しながら修理を行い、不具合が解消したときです。問題が発生するときは、緊急的なことが多く、すぐに対処しなければなりません。そのときに、職種を問わず職員同士協力して作業していき、問題が解消されたときには大きな達成感があります。また、下水道に関わる仕事は、日常で触れることができない設備に触れることができ、多様な業種の方が働いているので、電気だけでなく機械や土木、化学に関係することも知識として学べることは、とてもおもしろいと感じています。



建築営繕課 須藤 明
平成 30 年度採用 電気



市役所を選んだきっかけ

民間企業からの転職を検討していたところ、市職員の同級生（電気）から市役所の業務内容を色々聞いて非常に魅力的でした。転職先を検討していた中で、市役所の給与や福利厚生は民間企業に比べ比較的良いことが分かり、生活水準を余り下げずに転職出来ると思いました。

また、前職と異なり、市役所の勤務地は市内であるため通勤時間が短縮でき家族との時間を増やすことができ、転居を伴う異動が無いところが良いと思いました。さらに、働く目的として、単に家計の為だけではなく、青森市民のために働くという側面があり、モチベーションの維持になると思いました。

現在の業務内容

現在、市民体育館に設置されている非常用発電機の更新工事を実施しており（2018年7月納期）、主担当として業者との書類のやり取りや現場に出向いて重要な施行箇所の確認等を行

っています。また、先輩が担当している工事の現場に付いていき、現場で見るべきポイントや施工方法について勉強しています。

その他にも、改修工事等について、現場調査を実施し、工事費用を試算する作業を行っています。（青森競輪場の一部改修工事など）

働いてみて感じたこと・やいがい

電気のみならず幅広い分野の知識を習得することができると感じました。私は土木や建築にも興味が出てきて自分で家や倉庫を建ててみたいと考えるようになった程です。前職（民間企業）は専門性が高く工事全般に係る一般知識を習得することが難しかったのですが、市役所では一般知識から専門知識まで幅広く知識を習得することが出来ると思います。

人間関係に関しては、同じ部署の上司、先輩は思いやりがありやさしい人が多く、他の課も同じような雰囲気、 “ホワイト” 感がある職場だと思いました。

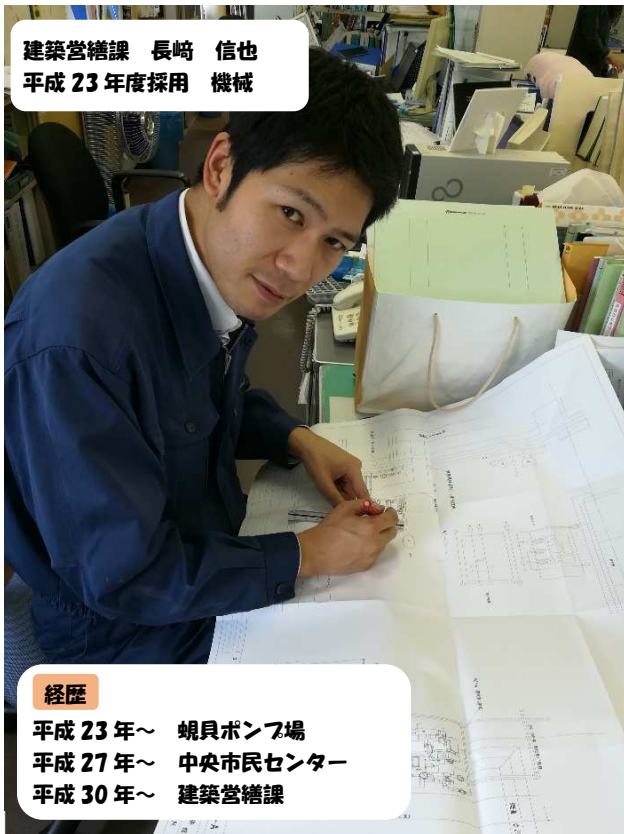
市職員を目指す方へのメッセージ

民間企業では過酷な長時間労働など社員への負荷が高い会社もあると思います。一方で、市役所では時間外労働の管理が比較的しっかりしているほか、民間企業特有の倒産やリストラなど将来への不安も非常に少ないです。

就職活動の際は、民間企業との比較を行って頂き、安泰の市職員としてぜひ一緒に働きましょう！

お待ちしています！





建築営繕課 長崎 信也
平成 23 年度採用 機械

経歴

平成 23 年～ 蛎貝ポンプ場
平成 27 年～ 中央市民センター
平成 30 年～ 建築営繕課

市役所を選んだきっかけ

私は民間で自動車整備士をしていましたが諸事情により退職しました。その後大学に入り、就職時期が来たとき、民間を退職した経緯もあり職務内容や福利厚生がしっかりした就職先を探していたところ青森市役所で技術系職員の募集があり、長く勤められることや、自分の持っている機械的技術を地元のために使いたいと考え、応募しました。

今は青森市役所に勤めて良かったと思っています。

これまで経験した業務

私はこれまで下水道の蛎貝ポンプ場、教育委員会事務局の中央市民センター、そして今年から都市整備部の建築営繕課に移動になりました。

まず、蛎貝ポンプ場で経験したのは、下水道

機器の維持管理、運転管理などで、具体的には汚水を浄化センターまで圧送するポンプを 24 時間運転し、雨が降った場合など冠水しないように雨水ポンプで川に放流していました。24 時間 365 日交代で出勤し、夜勤もしていました。重要性が高い機器が故障した場合など、緊急呼び出しがあり、夜中でも出勤し対応することがあります。

中央市民センターでは、中央市民センターの維持管理、勤労者プールの運転管理その他市内に 21 箇所ある市民センター及び分館の維持管理を担当していました。具体的には中央市民センターは蛎貝ポンプ場とは違い一般の市民の方々が利用する施設なので、暖房や給排水などのトラブルは迅速に対応しなければ苦情につながるので神経を使う仕事でした。

建築営繕課では設計書、図面の作成、工事監理を主な仕事としています。具体的には、新築、改修問わずに工事の設計金額を出し、その工事を落札した業者と打合せをし、工事を進める仕事になります。

働いてみて感じたこと・やいがい

私が青森市役所の一員として一番やりがいを感じたのは、中央市民センターに勤務していたとき、温水暖房のポンプから大量の水漏れがあり、部品を手配し修理したときに館長から「あなたがいるからこのセンターは安心して利用できる。ありがとう」と言われた時でした。この言葉で私は市職員として勤務できて幸せだと思いました。

蛸貝ポンプ場 三浦 慎士
平成26年度採用 機械



経歴

平成26年～ 建築営繕課
平成30年～ 蛸貝ポンプ場

市役所を選んだきっかけ

もともと製造業の企業で働いていましたが、地元である青森市へUターン就職するために青森市役所を受験しました。青森市には機械系の技術者が働け、且つ安定した就職先は少ないのですが、たまたま企業経験者の機械職を青森市役所が募集していることを知り、市役所なら長く安心して働けると思い受験しました。

これまで経験した業務

H29年度までは、市有施設の営繕業務に携わっていました。老朽化した小中学校や児童館等の給排水設備や冷暖房設備を改築・修繕する工事の設計・工事監理業務を行っていました。

現在は、下水道施設の維持管理に携わっています。日常的な業務としてポンプ場の巡回点検を行います。ポンプ場は汚水処理場へ汚水を送水するため施設です。安定的に汚水を送水するために点検をおこない、不備が見受けられる場

合には修繕を行います。ポンプが故障した場合には、ポンプ本体を分解し部品交換を行う等の対応をしています。

蛸貝ポンプ場内 外観



働いてみて感じたこと・やいがい

技術職は事務職に比べるとデスクワークが少なめで、施設や工事の現場に出たりすることが多いと思います。時には自分達でポンプ等の機器を修繕するような現場仕事も行います。現場仕事は技師の特権であり、一番面白いところかなと思います。

また、市役所と民間企業を比べると、あくまで私個人の感じ方にはなりますが、業績に対する上司からのプレッシャーはゆるめに感じました。逆に、法律や規則・規定に対しては非常に厳しく、文書を読む機会が劇的に増えました。

市職員を目指す方へのメッセージ

私の場合は、民間企業からの転職という形で市役所に就職しましたが、今の仕事には非常に満足しています。民間企業時代の知識はほとんど生かしていませんが(笑)、市役所は最初から知識がなくても、勉強しながら成長していける環境だと思います。受験時の倍率も事務職と比較すると低く、チャンスも大きいと思いますので、是非がんばって受験してください。

出席者

建築営繕課 諏訪 朱美
平成 23 年度採用 建築

建築営繕課 栗谷 貴子
平成 14 年度採用 電気

水道部施設課 木村 里紗
平成 26 年度採用 機械

水道部施設課 尾崎 央子
平成 23 年度採用 土木



◆青森市職員を志望した動機について

諏訪 私が青森市職員を希望したのは、実家との絶妙な距離感と「公務員＝安定」のイメージ、そして青森市が特定行政庁という理由で、特定行政庁だと建築職として仕事の幅が広いと思ったからです。

青森市を受験した当時の私には「この仕事がしたい!」というものがなくて、なんとなく建築に関わる仕事がしたかったので、人事異動があって仕事の選択肢が多いというのは魅力的でした。



尾崎 私は地元就職を希望していて、人と

関わって達成感を得る仕事に就きたいなと思っていたので、市民のために働く公務員の仕事に興味を持って志望しました。

木村 私も青森市の出身だから漠然と将来は青森市で働いて生活していきたいと考えていて、大学で学んだ機械の知識を生かすことのできる職業の一つの選択肢として青森市役所がありました。

調べていくうちに市役所の機械職が配属される職場として、小学生の時に社会科見学に行った浄化センターや浄水場があることを知って、ほんやりしたイメージだった働くということが身近に感じられたので市役所を受験することを決めました。

栗谷 私は大学の専攻が情報系だったので、ソフトウェア系の民間企業を受けていましたが、県外勤務の会社ばかりで…。

地元での就職が希望だったので、同じゼミの先輩が市役所で働いていると聞いていたのもあって、受験してみようと思ったのが志望のきっかけです。

◆公務員試験対策としてどんなことをしたか

諏訪 大学で、公務員試験向けの講座ありませんでした？

尾崎 ありましたね。私は大学の公務員講座で教養試験の勉強をして、専門試験は、大学で勉強した内容を復習する程度でした。あとは、面接対策で青森市の政策に関するキーワードみたいなものを情報収集しました。



栗谷 いいですね、私の時は講座なんて無かったですよ。

私の場合、専門科目は民間企業向けに勉強していた情報・物理等の教科を見直して、教養科目は公務員試験用のテキストを使って勉強しました。

木村 私は民間と並行して就職活動を行っていたので、早いうちからSPI試験の勉強をしていました。講座等は受けずに独学でしたが、公務員試験の教養試験と似ている部分も多くあって、問題に慣れるという意味でとても役に立ったと思います。

専門試験についても大学受験や大学で学んだことをきちんと理解していれば何とかかなると思って、あまり時間を割かなかったです。

◆職場の雰囲気や働きやすさについて

栗谷 話しやすい雰囲気なので、状況が共有されていて、何かあってもお互いにフォローし合える職場だと思います。

尾崎 私は現在採用から3課目ですが、この職場も雰囲気がいい職場だと思います。

ちなみに、私の経験した職場はどこも職場内の約9割は男性職員です。女性の技術職だからと必要以上に気遣われることはなくて経験にあった仕事を任されています。それでも力仕事とか私が弱いところは上司、先輩、同僚にフォローしてもらっているので、女性としては働きやすいなと感じるし、日々周りの皆さんには感謝しています。

あと、計画的に仕事をこなせば休暇も取得しやすいので、プライベートの時間もしっかり確保できるのは気持ちにも余裕ができて働きやすさにつながっていると思います。

諏訪 私は現在2課目で、人事異動でこれまでと違う仕事をしなければならないことがプレッシャーに感じることもありましたが、最近は多くの人やものに関われるメリットの方が大きくなって思えるようになりました。

あと、やっぱり休暇が取りやすくて、福利厚生の実施も働きやすさのひとつですね。今の部署はイクメンが多くて、ステキだと思います。

木村 私は今妊娠中で、今後、産休と育休を取得する予定なのですが、そのことについて上司に相談した時も「仕事についてはこちらで対応するから心配せず元気な子を産んでください」とお言葉をいただき、実際、休業時の引継ぎ

についても十分な時間を用意して対応していただきました。仕事と家庭の両立は難しいことも多いと思いますが、その点についても青森市役所は理解がありとても恵まれた環境だと思います。



諏訪 ところで、私たち技術職の職場って男性多いですね。何か困ったこととかありますか？

尾崎 大学の時から男性が多かったし、特に困ったことはないですね。

栗谷 女性だからってというのは、あまり気にしないですね。

木村 男性の先輩方優しいですよ。

諏訪 最近女性の技師も増えてきていますよね。

尾崎 土木は8人ですね。

栗谷 電気は4人です。

諏訪 建築は6人です。

木村 機械は私1人だけです。もっと増えるといいですね。

◆青森市の受験を考えている方へメッセージ

栗谷 忙しい時期は残業もありますが、やりがいのある仕事です。慣れてくれば自分の仕事の進め方次第でまとまった休みも取れます。まだ男性が多いとはいえ、女性技師も増えてきているので、男女問わずお待ちしております。



木村 私もそうでしたが、技術系公務員というのは募集人員も少なく、どんなことをしているのか具体的にイメージす

ることが難しいので選択肢としてなかなか出てこないのではないかと思います。

でも、ホームページとか調べるだけでも、「配属先」に書かれている課名に見覚えがあったり、自分の研究内容と似た仕事を発見できたりして、青森市役所技術系職員がどんどん身近に感じられるようになると思います。厳しくも優しい先輩と頼りになる再任用の大先輩が大勢いる技術系の職場は、とても居心地がよくお勧めです。

尾崎 自分が携わった仕事が市民の皆さんの生活に直結して喜ばれ、そして時間経過によって新しい要望が生まれ改善が求められて解決して、その繰り返し。そうやって長年地域に関わっていけることが公務員の仕事であり、やりがいなのかなと私は思っています。

特に近年は市民の皆さんの安全・安心への関心も高まり、災害対策や老朽化施設の更新などでますます技術職の需要は高まっていると感じています。

今、新しい市長の下、新たな挑戦が始まっていくこれからの青森市を職員として一緒に盛り上げてくれる人是非お待ちしております。

諏訪 行政の建築職は配属先によって仕事の内容もさまざまです。ときには思っていたものとは違う仕事もありますが、役立つ経験になると思います。また、ここ数年で女性の技術職員の割合が増えたこともあり、働き方や環境が変化していく部分もあると思います。市民にとって、職員にとって、より良い市役所を目指して一緒に頑張りましょう。

リケ×リケ夫婦インタビュー



◆プロフィールについて教えてください

氏名 小泉一斗【以下（夫）】

所属先：都市整備部建築営繕課

採用：平成23年度

職種：電気

氏名 小泉純子【以下（妻）】

所属先：環境部八重田浄化センター

採用：平成23年度採用

職種：電気

◆二人の出会いについて教えてください

夫 初めて会ったのは、入庁前に行われる新採用職員説明会でした。職種が同じ電気ということで、まあまあ話した記憶があります。



◆最初の印象はどうでしたか

夫 妻が年上ということもあり、姉御な感じのお姉さんでしたね。実際よく話してみると、しっかりはしていますが、なんか幼く見えるところもあって意外でした。

妻 若いなあと思ったくらいしか記憶がないです。まさかこの人と結婚することになるとは、あの時は全然思いませんでした。

◆どんなところに惹かれましたか

夫 一緒にいて居心地がいいことですね。話しているといつも楽しいです。結婚してからわかったことですが、料理が上手なので毎日おいしい御飯を作ってくれます。

妻 たまに、どこが好き？と聞かれて考えますが、いつもわからないですね。いやなところは10個出てきますけど（笑）でも一緒にいてお互いとても楽しいので、それでいいと思っています。

◆結婚する前と後で変わったことはありますか

妻 当たり前ですが、仕事がある上に家事が増えました。大学から前職までは一人暮らしだったので、市役所に入るときに実家に戻ってきて家事は親任せだったので。実家ってなんて楽だったんだろうと思います。お金も貯まりますし。結婚した当初はそれぞれ家事分担を決めて、半々くらいでやっていたのですが、結婚して3ヶ月くらいで夫が忙しい課に異動になり、私の割合が増えていきました。



夫 異動前は、交代制勤務で夜勤前に晩ご飯を作るときもあったのですが、常日勤になり、残業が増えたので難しくなりました。そこから異動しましたが、結局家事はあまりやってないです。私が作るご飯よりも妻が作る方がおいしいですから。

妻 そういえば新採用は交代制勤務だったね。交代制勤務だと毎週土日が休みではないので、たまに一人の休みを楽しむ時間もあってよかったです。今は子供がいるので土日休みのほうが助かっています。

◆仕事と私生活を両立させるコツはありますか

妻 やっぱり息抜きで
すかね。特に平日は
日中仕事で、家にい
る間は子供の世話と
家事、寝かしつけす



ると自分も寝てしまって自分の自由な時間がほぼないので。たまに食べるスイーツでなんとかがんばっています。

夫 たまに祖父母に子供を預けて 2 人で外出がリフレッシュですね。子連れだと食事の場所やショッピングの時間もなかなか限られるので。リフレッシュできると来週もがんばろうと思えます。

◆市役所で働きながら子育てするのは大変ではないですか

夫 年次休暇の20日のほかに特別休暇の子の看護（子ども1人につき年5日、2人以上は年10日）があってとても助かっています。子どもがまだ小さく、病気にもなりやすいので、私が休めるときは休んで病院に連れて行ったり、2人とも休めないときはどちらかの実家へ子供を預けてから職場に来ています。祖父母や職場のサポートがあってこそですね。

妻 働きながら子育ては市役所じゃなくても大変だと思うので…。でも市役所では、妊婦健診の休暇や授乳休暇などの特別休暇もあるので、結構利用しました。今の職場はチームの人数が多いこともあり、配慮して頂いていて残業はほぼないので、毎日18時まで保育園に迎えに行けるのでとても助かっています。



◆同じ技術職同士で結婚してよかったことはありますか

夫 お互いの仕事内容・職場環境がわかるというのは大きいと思います。今日どんな仕事をしたか、職場でどんなことがあったかという話はよくします。そのため、残業するにしても、理由を話せば理解してくれるということは大きいです。私が残業するということは、その間子ども2人の世話を妻1人に任せてしまうので。今後人事異動で私がいなかったことがある職場に妻が異動したり、またその逆もあったりすると思いますので、そういう情報交換はできるのかなと思います。

妻 お互い工業高校出身ではないし、電気に特化した大学でもないの、専門用語を家でクイズ形式で出してみたり、〇〇って知ってる？と聞いてみたりして情報共有しています。仕事関係の話の登場人物は大体知っている人なのでおもしろいですね。話をされた時は知らない人でもどこかで会ったりして「ああ、この人か…」と楽しんでいます。ただ、夫とは同期なので子供が生まれてからは同期の飲み会に片方しか参加できないという悲しさはありますね…。



©AOMORI/N・HCP

青森市観光イメージキャラクター
ねぶたん



©NATUIDAIKU/TAITOSHA

青森市観光イメージキャラクター
セイラ

～編集者より～



建築営繕課 中堤 康行
平成 15 年度採用 建築



－セントラルパーク航空写真－

市役所の技術職というと皆さんあまりなじみがないかもしれませんが、特にまちづくりの分野で、市民生活の質の向上に貢献するために様々な仕事をしています。

例えば、平成 32 年 1 月の供用開始を目指して現在建設工事をしている新市庁舎について、われわれ技術職が設計や工事監理等に携わっております。また、最近話題のセントラルパークにおけるアリーナ建設及び周辺整備や、青森駅の自由通路、西口駅前広場の整備等の大きな事業もこれから本格的に動いていく予定です。



－自由通路外観イメージパース－



－新庁舎外観イメージパース－



－自由通路内観イメージパース－



－新庁舎内観イメージパース－

こういったまちづくりに係る事業の成否は、われわれ技術職の腕に掛かっていると思うので、ぜひ一緒に青森市の新時代を築いていきませんか。皆さんと共に未来の青森市のために働くことを楽しみにしております。

採用試験に関する問い合わせ先

〒030-8555 青森市中央一丁目 22 番 5 号

青森市 総務部 人事課 TEL 017-734-5093

URL : https://www.city.aomori.aomori.jp/shiseijouhou/jinji_kyuuyo/syokuin-saiyou/index.html